











## 15. 張り子の製作 1

15-1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) まず張り子紙を貼り合わせる糊を作ります。大さじ1杯分の小麦粉に、塊ができないように水100ccを徐々に加えながら溶かしていきます。</li> <li>2) 混ぜながら弱火で加熱し、混ぜた跡が残る程度にトロリとしてきたら、火を止めそのまま放置して冷やし糊の完成です。</li> </ol>
15-2		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 張り子紙に、筆等でのりを均一に塗ります。</li> <li>2) 張り子紙を2~3cm角に手でちぎり、曲面に沿うように、ちぎった紙の周りに5mm間隔程度で、切れ目を入れておきます。この時、髪は必ず手でちぎってください。張り子紙を重ね合わせていくとき、継ぎ目が自然につながります。</li> </ol>
15-3		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 石膏の型に、ちぎった張り子紙の糊面を内側（型側に乾いた面）にして、縁から並べるように貼っていきます。この時張り子紙間に隙間が無く、かつ重なりがなるべく少なくなるように貼ります。</li> <li>2) 縁から順番に内側へ貼っていき、目鼻の細かい部分は、竹へらなどを使い、しっかり型に沿うように押す。</li> <li>3) 前面を貼り終えたら、次は紙の継目をふさぐように位置をずらして貼り、これを4~5回繰り返す。</li> </ol>
15-4		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 目鼻やあごの部分が型崩れしないように、張り子全周を竹へら等で型から均等に浮かせ、頭のほうから引き上げるように型から外します。</li> <li>2) 崩れてしまったところや、紙の毛羽立ったところは、糊をつけた竹へら等で補修します。</li> </ol>
15-5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 後頭部も同様に作ります。</li> <li>2) 乾燥時には収縮するので、変形しないように、割り箸等を写真のように適当な長さに切ったものを3箇所ほどポンドで接着する。</li> <li>3) 上向きにしてそのまま放置して乾燥させます。十分乾燥するには、1~2日かかります。</li> </ol>

## 16. 張り子の製作 2

16-1		<ol style="list-style-type: none"> <li>十分に乾燥したら、張り子全周の折り返し部分を切り取ります。</li> <li>頭部の前後を合わせてみて、両方がぴったり合うように縁をカッターナイフ等で整形します。</li> <li>縁の部分に木工用ボンドを塗り貼り合わせ、コテで押えて固定するとともに、凹凸もコテで整形します。</li> </ol>
16-2		<ol style="list-style-type: none"> <li>アルミ線（Φ1mm）で耳の形となるフレームを作ります。</li> <li>張り子の両側に千枚通しで穴を開け、両耳の取り付け部分を差し込んで接着します。</li> </ol>
16-3		<ol style="list-style-type: none"> <li>アルミ線で作った耳のフレームに、張り子紙をちぎってボンドで接着し、コテで固定整形します。</li> <li>耳の裏側から折った張り子紙をボンドで接着し、コテで固定しながら形を整えていきます。</li> </ol>
16-4		<ol style="list-style-type: none"> <li>Φ6×8mm（内径Φ2mm）の軸受けを作ります。</li> <li>Φ8×4mm（内径Φ2mm）の軸受けを2個作ります。</li> <li>8mm角の頭部台座を作り、軸受けの穴位置を合わせて接着固定します。</li> <li>軸受けに対し回転軸がスムーズに回転するように、回転軸となる竹ヒゴの表面を紙ヤスリで仕上げおきます。</li> </ol>
16-5		<ol style="list-style-type: none"> <li>張り子頭部の首側面に千枚通しで穴を開けます。</li> <li>張り子の首内側に頭部台座を差込み、その両側にΦ8×4mmの軸受を入れるように回転軸を張子の首側面から貫通させ、頭部台座に対し張り子頭部の首振りができるようにします。</li> <li>回転軸を首幅に合わせて、余分な部分を切断し、張り子頭部に接着固定します。また頭部台座が中央にくるようにしΦ8×4mmの軸受けで挟み込むようにして軸受けと軸を接着します。</li> </ol>